

# イセエビ



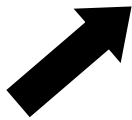
- ・ 沿岸の岩礁域に生息し、主に外房地区で刺し網により漁獲される。
- ・ プエルルスに変態し、沿岸域に着底後2歳で制限体長の13 cm(80g前後)に達する。
- ・ 産卵期は5~9月。

## 資源評価

水準：高位

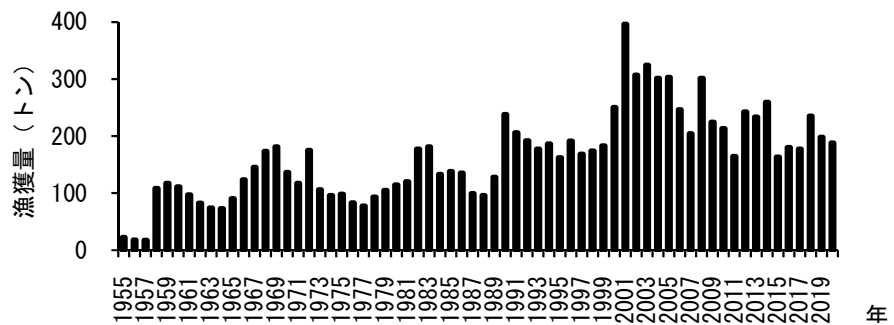


動向：増加



## 漁獲量

- ・ 1955年以降緩やかな増加傾向にあり、2001年は過去最大の396 tとなった。
- ・ 2020年は188 t。

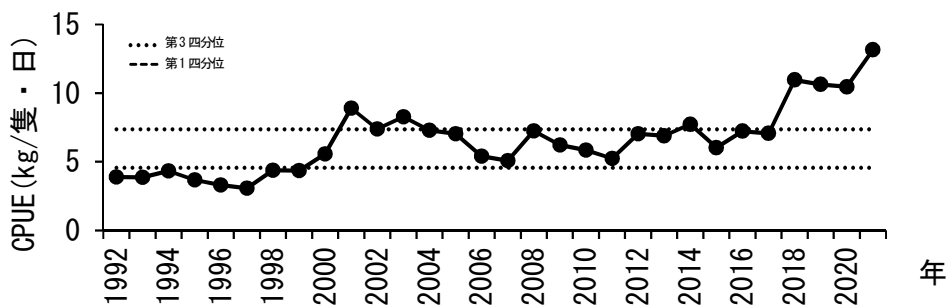


イセエビ漁獲量の経年変化  
(千葉県農林水産統計年報、漁業・養殖業生産統計)

注) 資源水準は、原則過去20年以上の評価指標値(CPUE)から4分位により評価した。  
資源動向は、最近5年間の評価指標の近似式から年間5%以上の増減の有無により判断した。

## 資源評価の判断

- ・ 資源水準及び動向は主要23地区刺し網漁業のCPUEで判断した。
- ・ 2021年の資源水準は最近30年間の高位。最近5年間の資源動向は増加傾向となった。



イセエビ主要23地区刺し網漁業CPUEの経年変化

## 資源管理の取り組み

- ・ 千葉県漁業調整規則で全長制限(13 cm以下のものは採捕してはならない)と禁漁期間(6/1~7/31)が定められている。
- ・ 漁具(刺し網の使用反数)の制限、操業時間の制限、小型個体の再放流等、漁業者による自主的な資源管理が行われている。